FA-D-0455-A

CC-Link IEフィールドネットワーク安全機能付きリモートI/Oユニット(安全プロトコルバージョン1対応製品)生産中止のお知らせ

■発行
2025年9月
■適用機種
NZ2GFSS2-32D，NZ2GFSS2-16DTE，NZ2GFSS2-8D，NZ2GFSS2-8TE

三菱電機汎用シーケンサに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび，長い間ご愛顧いただいておりますCC-Link IEフィールドネットワーク安全機能付きリモートI/Oユニット(安全プロトコルバージョン1対応製品)の生産を下記のとおり中止させていただきますので，ご了承の程宜しくお願いいたします。

1　生産中止機種

品名	形名
基本安全入力ユニット	NZ2GFSS2-32D
基本安全入出力混合ユニット	NZ2GFSS2-16DTE
基本安全入力ユニット	NZ2GFSS2-8D
基本安全出力ユニット	NZ2GFSS2-8TE

2　生産中止時期

受注生産移行: 2026年9月1日
受注締切日: 2027年6月30日
生産中止日: 2027年9月30日

3 生産中止理由

生産中止機種に使用しております安全通信は，安全通信規格(IEC 61784-3)に適合しておりますが，本規格は2010版から2021版へ移行しております。このため，2010版の安全プロトコルバージョン1対応製品は，TUV認定証の更新が不可となりましたので，これらの製品を生産中止します。
後継機種として2021版に適合した安全プロトコルバージョン2対応製品を2023年6月に出荷開始しております。
欧州への流通または安全用機器の第三者認証が必要な場合は，既設の装置・システムに組み込まれた製品を後継機種へ置き換えいただくようお願いします。その他の場合は，既設の装置・システムに組み込まれた製品を引き続きご使用いただいて問題ありません。

4 修理対応

修理対応期間: 2034年9月30日(生産中止後，7年間)

5 置換え推奨機種

品名	生産中止機種(安全プロトコルバージョン1)	置換え機種(安全プロトコルバージョン2)
	形名	形名
基本安全入力ユニット	NZ2GFSS2-32D	NZ2GFSS2-32D-S1
基本安全入出力混合ユニット	NZ2GFSS2-16DTE	NZ2GFSS2-16DTE-S1
基本安全入力ユニット	NZ2GFSS2-8D	NZ2GFSS2-8D-S1
基本安全出力ユニット	NZ2GFSS2-8TE	NZ2GFSS2-8TE-S1

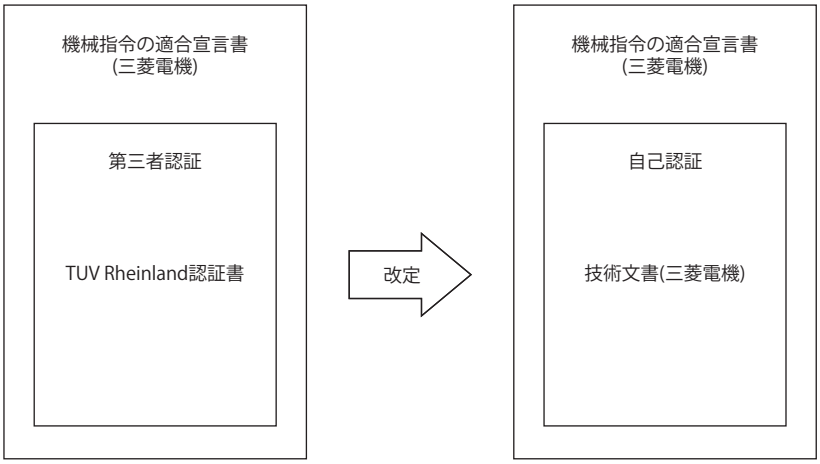
置き換え時の注意事項については4ページ 置き換え時の注意事項，置き換え手順については6ページ 置き換え手順を参照してください。

6 お客様へのお願い

製品の生産中止にあたり，1ページ 生産中止時期に記載の受注締切日までに，該当機種のご購入をお願いいたします。

7 TUV認定証有効期限後の取り扱い

2026年9月1日のCC-Link IEフィールドネットワーク安全機能付きリモートI/Oユニット(安全プロトコルバージョン1対応製品)受注生産移行後は，製品に同梱する第三者認証機関TUV Rheinlandの認証に基づく機械指令の適合宣言書を，弊社の自己認証に基づく機械指令の適合宣言書に改定いたします。



適合宣言書は欧州市場で製品を流通させる場合に必要となります。
本製品を組み込んだお客様の装置，システムを欧州市場で流通させる場合は，改定内容に注意してお客様の装置，システムの適合宣言書のご確認をお願いいたします。

Point

- 第三者認証は機械指令(2006/42/EC) Annex IX EC-type-examinationで定義される認証機関(Notified Body)による適合性評価と同一の意味として用いております。
- 自己認証は機械指令(2006/42/EC) Annex VIII Assessment of conformity with internal checks on the manufacture of machineryで定義される製造者自身による適合性確認と同一の意味として用いております。

8 置き換え時の注意事項

生産中止機種を置き換える場合は，ご使用の機種に応じて下記をご確認ください。

8.1 安全プロトコルバージョン1/2対応マスタ局との組み合わせ

製品とファームウェアバージョンによって対応している安全プロトコルバージョンが異なります。詳細は下記表をご確認ください。

○: システム構築可，△: システム構築可(制約あり)，—: システム構築不可

接続機器(マスタ局)	安全リモートI/Oユニット		
	安全プロトコルバージョン2対応品	安全プロトコルバージョン2対応品+安全プロトコルバージョン1対応品	安全プロトコルバージョン1対応品
安全プロトコルバージョン1/2対応品	○	△*1	△*1
安全プロトコルバージョン1対応品	—	—	△*1

*1 システム構築は可能ですが，第三者認証を新規に取得できません。第三者認証を新規に取得する場合は，最新の規格が要求されるため，安全プロトコルバージョン2対応品のみをご使用いただくことを推奨いたします。

8.2 サイクリック伝送の使用点数の変更

品名	生産中止機種(安全プロトコルバージョン1)		置換え機種(安全プロトコルバージョン2)	
	形名	RWr/RWw使用点数	形名	RWr/RWw使用点数
基本安全入力ユニット	NZ2GFSS2-32D	16点	NZ2GFSS2-32D-S1	32点
基本安全入出力混合ユニット	NZ2GFSS2-16DTE	20点	NZ2GFSS2-16DTE-S1	
基本安全入力ユニット	NZ2GFSS2-8D		NZ2GFSS2-8D-S1	
基本安全出力ユニット	NZ2GFSS2-8TE		NZ2GFSS2-8TE-S1	

サイクリック伝送の使用点数が異なるため，GX Works3の[ネットワーク構成設定]から下記を変更してください。

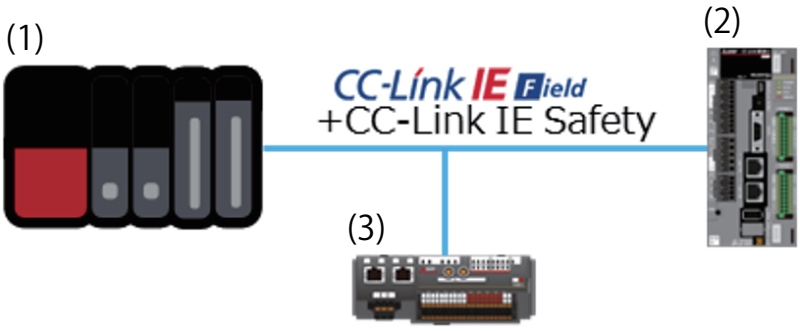
1. GX Works3に安全プロトコルバージョン2対応品(形名末尾「-S1」)のプロファイルを登録します。
2. ネットワーク構成設定にて，現行品を安全プロトコルバージョン2対応品(形名末尾「-S1」)へ置き換えます。
3. RWr/RWwの設定値を変更します。
4. お客様のプログラムにてRWr/RWwをご使用されている場合は，設定割付に合わせて変更します。

8.3 シンプルモーションユニットとの接続制約

シンプルモーションユニットは安全プロトコルバージョン2に対応していないため，シンプルモーションユニットからCC-Link IEフィールドネットワークで安全リモートI/Oユニットを接続した構成では，後継機種へ置き換えることはできません。
そのため，CC-Link IE TSNで接続したシステムへの一括置換えをご検討ください。
CC-Link IE TSNで接続したシステムへ置き換えることで，サーボアンプのオプションユニットレス化(装置価格の低減，省スペース化)を図ることができます。また置換え後のユニットでは機能，性能が向上しています。
お問い合わせに関しては，最寄りの当社の支社または代理店にご相談ください。

置換え前

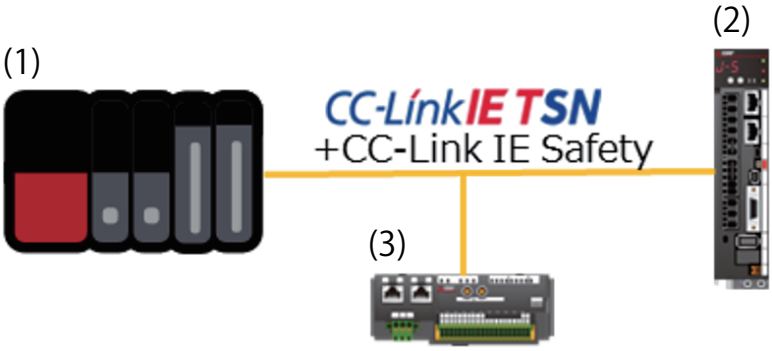
■シンプルモーションユニットからCC-Link IEフィールドネットワークで安全リモートI/Oユニットを接続した構成



(1)安全CPU+シンプルモーションユニット(RD77GF4，RD77GF8，RD77GF16，RD77GF32)
(2)MR-J4-GF-RJ+D30
(3)安全リモートI/Oユニット(NZ2GFSS2-□□)

置換え後

■CC-Link IE TSNで接続したシステムへ一括置換えした構成



(1)安全CPU+モーションユニット(RD78G)
(2)MR-J5-G-HS/MR-J5-G-RJ
(3)安全リモートI/Oユニット(NZ2GNSS2-□□)

Point

- モーションユニットをシンプルモーションモードで使用することにより，容易にプログラムが移行できます。
- 安全レベルは置換え前と同等です。(IEC61508(SIL3)，ISO13849-1(カテゴリ4，PLe))

9 置き換え手順

生産中止機種から置換え機種に変更する手順を説明します。

9.1 仕様比較

安全プロトコルバージョンの変更とRWw/RWr使用点数が増加しています。

項目	生産中止機種		置換え機種	
	NZ2GFSS2-32D +NZ2EXSS2-8TE	NZ2GFSS2-16DTE, NZ2GFSS2-8D, NZ2GFSS2-8TE	NZ2GFSS2-32D-S1 +NZ2EXSS2-8TE	NZ2GFSS2-16DTE-S1, NZ2GFSS2-8D-S1, NZ2GFSS2-8TE-S1
入出力点数(二重配線時)	入力: 16点 出力: 4点	入力: 4点 出力: 4点	入力: 16点 出力: 4点	入力: 4点 出力: 4点
RX/RY使用点数	80点		80点	
RWw/RWr使用点数	16点	20点*1	32点	32点*1
SA¥X/SA¥Y使用点数	48点	32点	48点	32点
安全プロトコルバージョン	1		2	

*1 RWw/RWr使用点数の増加に伴い，リモートレジスタの各機能の割付(デバイスNo.)が変更されます。詳細は下記表を参照してください。

項目	生産中止機種	置換え機種
	NZ2GFSS2-16DTE，NZ2GFSS2-8D, NZ2GFSS2-8TE	NZ2GFSS2-16DTE-S1，NZ2GFSS2-8D-S1, NZ2GFSS2-8TE-S1
Y出力ON情報(増設出力1段目)	RWr10	RWr1C
Y出力ON情報クリア要求(増設1段目)	RWw10	RWw1C
Y出力OFF情報(増設出力1段目)	RWr13	RWr1F
Y出力OFF情報クリア要求(増設1段目)	RWw13	RWw1F

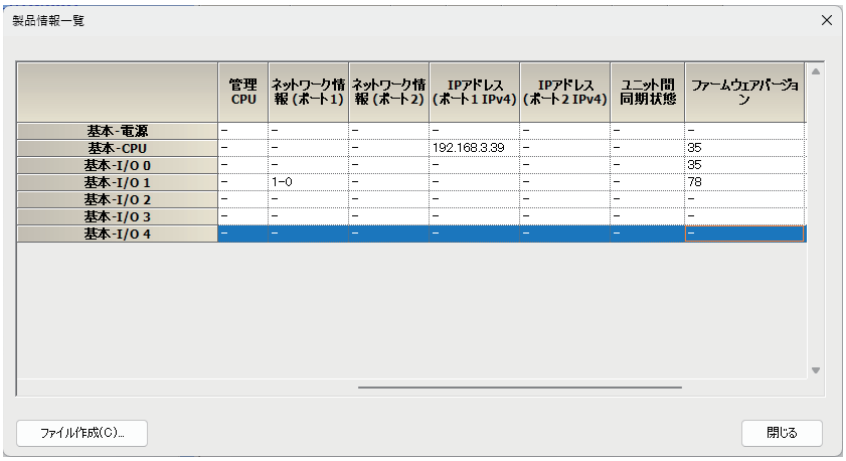
9.2 事前準備

安全プロトコルバージョン2対応バージョンのユニットとソフトウェアを用意します。

ユニット			ソフトウェア
R08SFCPU，R16SFCPU，R32SFCPU，R120SFCPU	R6SFM	RJ71GF11-T2	GX Works3
Ver.29以降	Ver.29以降	Ver.70以降	1.095Z以降

ファームウェアバージョンは，GX Works3の[製品情報一覧]から確認できます。

[診断]→[システムモニタ]→[製品情報一覧]



GX Works3のバージョンは，GX Works3の[バージョン情報]から確認できます。

[ヘルプ]→[バージョン情報]

使用しているGX Works3のバージョンがVer.1.095Z~1.101Fを使用している場合，プロファイル登録が必要です。
☞ 8ページ プロファイル登録
Ver.1.105K以降を使用している場合，プロファイル登録済みのため，9ページ 安全リモートI/Oユニットの実機交換に進んでください。

プロファイル登録

置換え機種のプロファイル入手

三菱電機FAサイトからプロファイルをダウンロードしてください。
www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

[ダウンロード]→[ソフトウェア]→[制御機器]→[ネットワーク関連製品]→[プロファイル]→[CC-Link IE フィールドネットワーク]

対象のプロファイルは下記です。

- NZ2GFSS2-32D-S1用プロファイル
- NZ2GFSS2-16DTE-S1用プロファイル
- NZ2GFSS2-8D-S1用プロファイル
- NZ2GFSS2-8TE-S1用プロファイル

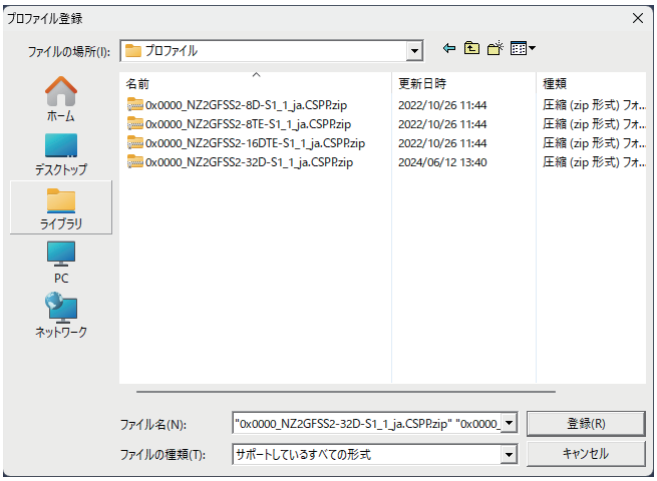
プロファイル登録

1. GX Works3を新規に起動します。(他に起動しているGX Works3があればすべて終了させてください。)

2. プロファイル管理からプロファイル登録画面を開きます。

[ツール]→[プロファイル管理]→[登録]

3. プロファイル登録画面で，ダウンロードした置換え機種のプロファイルを選択し登録します。



9.3 安全リモートI/Oユニットの実機交換

下記の手順で生産中止機種から置換え機種へ交換を行ってください。

1. 安全制御システム(安全CPUと安全リモートI/Oユニット)のDC24V電源をOFFにします。
ユニット本体の電源と外部供給電源をOFFにします。

2. 生産中止機種の端子台(実際に配線されている部分)を取り外します。

3. 生産中止機種を安全プロトコルバージョン2対応の置換え機種に交換します。

4. 取り外した端子台を置換え機種に取り付けます。
端子台の付け間違いに注意してください。

Point

NZ2GFSS2-32Dは端子台が3つあるため特に注意してください。

5. 交換する台数分手順2.~4.を実施します。

9.4 パラメータ設定の変更

対象プロジェクトを開いて変更作業を行います。
パラメータ設定については，下記の変更が必要になります。

ユニット		項目	変更箇所
マスタ局	安全CPU	一般パラメータ	変更なし
		機器構成設定	変更なし
		安全パラメータ	変更なし
	マスタユニット	ネットワーク構成設定	ユニット形名，RWw/RWr割付
		リフレッシュ設定	RWw/RWr割付に伴うデバイス割付
		安全通信設定	安全プロトコルバージョンの設定
安全リモートI/Oユニット		パラメータ処理	置換え機種それぞれのパラメータ書込み

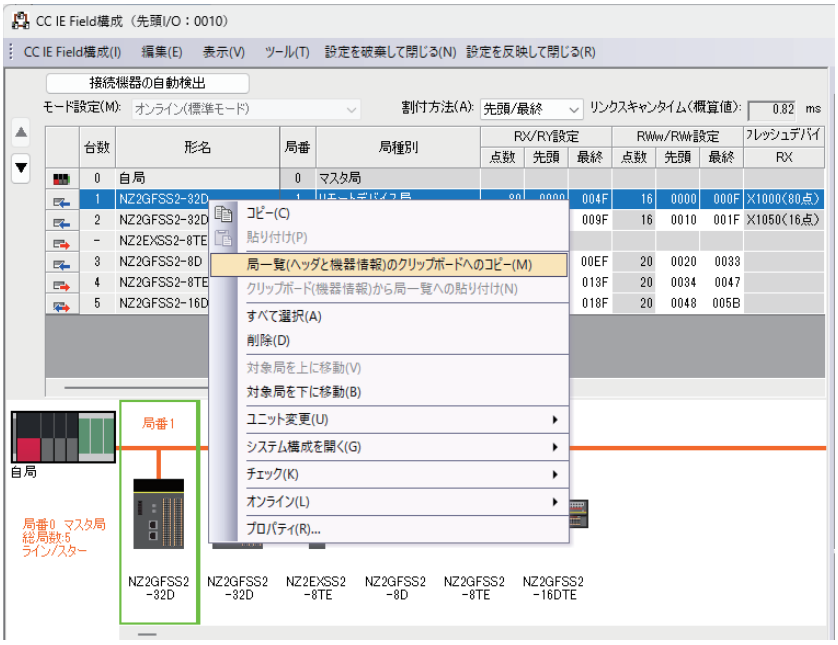
ネットワーク構成設定

表計算ソフトを使用したネットワーク構成(ユニット形名変更とRWw/RWr割付)の一括変更方法を説明します。

1. ネットワーク構成設定を開きます。

[0010: RJ71GF11-T2]→[基本設定]→[ネットワーク構成設定]

2. [局一覧(ヘッダと機器情報)のクリップボードへのコピー]を選択します。



3. 表計算ソフトを開き，セルを全選択して書式を文字列に変更します。

4. 貼り付けます。

				RX/RY設定			RWw/RWr設定			リフレッシュデバイス										
台数	形名	局番	局種別	点数	先頭	最終	点数	先頭	最終	RX	RY	RWw	RWr	予約/エラ	ペアリンク	ネットワー	機器名	コメント	局固有モード設定	
0	自局	0	マスタ局																	
1	NZ2GFSS2	1	リモートデ	80	0	004F	16	0	000F	X1000（8(	Y1000（8(	W0（16点	W1000（1	設定なし		同期しない				
2	NZ2GFSS2	2	リモートデ	80	50	009F	16	10	001F	X1050（1(	Y1050（1(	W10（16点	W1010（1	設定なし		同期しない				
-	NZ2EXSS2	-	-													同期しない				
3	NZ2GFSS2	3	リモートデ	80	00A0	00EF	20	20	33			W20（20点	W1020（2	設定なし		同期しない				
4	NZ2GFSS2	4	リモートデ	80	00F0	013F	20	34	47			W34（20点	W1034（2	設定なし		同期しない				
5	NZ2GFSS2	5	リモートデ	80	140	018F	20	48	005B			W48（20点	W1048（2	設定なし		同期しない				

5. 形名を置換え機種に変更し，RWw/RWr設定の点数および割付が32点になるように変更します。

変更前

				RX/RY設定			RWw/RWr設定			リフレッシュデバイス							
台数	形名	局番	局種別	点数	先頭	最終	点数	先頭	最終	RX	RY	RWw	RWr	予約/エラ	ペアリンク	ネットワー	機器名
0	自局	0	マスタ局														
1	NZ2GFSS2-32D	1	リモートデ	80	0	004F	16	0	000F	X1000（8(	Y1000（8(	W0（16点	W1000（1	設定なし		同期しない	
2	NZ2GFSS2-32D	2	リモートデ	80	50	009F	16	10	001F	X1050（1(	Y1050（1(	W10（16点	W1010（1	設定なし		同期しない	
-	NZ2EXSS2-8TE	-	-													同期しない	
3	NZ2GFSS2-8D	3	リモートデ	80	00A0	00EF	20	20	33			W20（20点	W1020（2	設定なし		同期しない	
4	NZ2GFSS2-8TE	4	リモートデ	80	00F0	013F	20	34	47			W34（20点	W1034（2	設定なし		同期しない	
5	NZ2GFSS2-16DTE	5	リモートデ	80	140	018F	20	48	005B			W48（20点	W1048（2	設定なし		同期しない	

↓

変更後

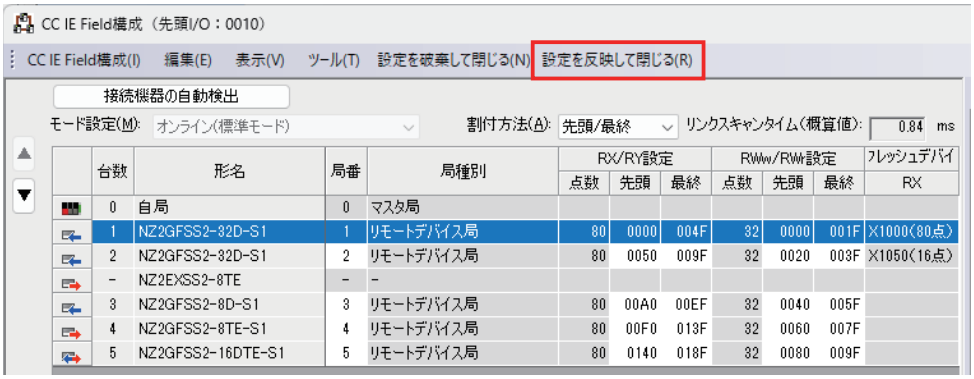
				RX/RY設定			RWw/RWr設定			リフレッシュデバイス							
台数	形名	局番	局種別	点数	先頭	最終	点数	先頭	最終	RX	RY	RWw	RWr	予約/エラ	ペアリンク	ネットワー	機器名
0	自局	0	マスタ局														
1	NZ2GFSS2-32D-S1	1	リモートデ	80	0	004F	32	0	001f	X1000（8(	Y1000（8(	W0（16点	W1000（1	設定なし		同期しない	
2	NZ2GFSS2-32D-S1	2	リモートデ	80	50	009F	32	20	003f	X1050（1(	Y1050（1(	W10（16点	W1010（1	設定なし		同期しない	
-	NZ2EXSS2-8TE	-	-													同期しない	
3	NZ2GFSS2-8D-S1	3	リモートデ	80	00A0	00EF	32	40	005f			W20（20点	W1020（2	設定なし		同期しない	
4	NZ2GFSS2-8TE-S1	4	リモートデ	80	00F0	013F	32	60	007f			W34（20点	W1034（2	設定なし		同期しない	
5	NZ2GFSS2-16DTE-S1	5	リモートデ	80	140	018F	32	80	009f			W48（20点	W1048（2	設定なし		同期しない	

6. 自局のデータから最後の局のデータまでコピーします。

				RX/RY設定			RWw/RWr設定			リフレッシュデバイス									
台数	形名	局番	局種別	点数	先頭	最終	点数	先頭	最終	RX	RY	RWw	RWr	予約/エラ	ペアリンク	ネットワー	機器名	コメント	局固有モード設定
0	自局	0	マスタ局																
1	NZ2GFSS2-32D	1	リモートデ	80	0	004F	16	0	000F	X1000（8(	Y1000（8(	W0（16点	W1000（1	設定なし		同期しない			
2	NZ2GFSS2-32D	2	リモートデ	80	50	009F	16	10	001F	X1050（1(	Y1050（1(	W10（16点	W1010（1	設定なし		同期しない			
-	NZ2EXSS2-8TE	-	-													同期しない			
3	NZ2GFSS2-8D	3	リモートデ	80	00A0	00EF	20	20	33			W20（20点	W1020（2	設定なし		同期しない			
4	NZ2GFSS2-8TE	4	リモートデ	80	00F0	013F	20	34	47			W34（20点	W1034（2	設定なし		同期しない			
5	NZ2GFSS2-16DTE	5	リモートデ	80	140	018F	20	48	005B			W48（20点	W1048（2	設定なし		同期しない			

7. ネットワーク構成画面で[クリップボード(機器情報)から局一覧への貼り付け]を選択します。

8. ネットワーク構成画面に置換え機種が表示されたことを確認し，[設定を反映して閉じる]を選択します。



Point

クリップボードを使用しない置換方法については下記を参照してください。
☞ 21ページ クリップボードを使用しない置換方法

リフレッシュ設定

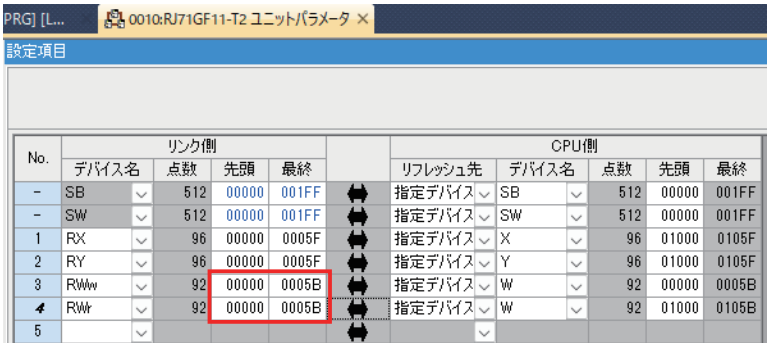
ネットワーク構成設定のRWw/RWrの点数増加分をCPU側デバイスに割り付けします。

1. リフレッシュ設定を開きます。

[0010: RJ71GF11-T2]→[基本設定]→[リフレッシュ設定]

2. リンク側の割付について，RWw/RWrの点数を満たすように割り付けします。

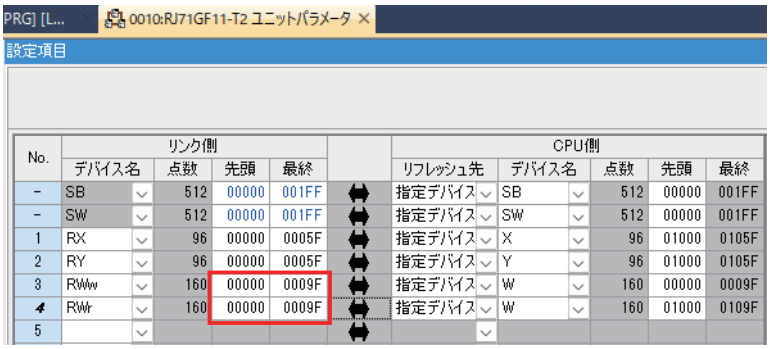
変更前



No.	リンク側 デバイス名	点数	先頭	最終		CPU側 リフレッシュ先	デバイス名	点数	先頭	最終
-	SB	512	00000	001FF		指定デバイス	SB	512	00000	001FF
-	SW	512	00000	001FF		指定デバイス	SW	512	00000	001FF
1	RX	96	00000	0005F		指定デバイス	X	96	01000	0105F
2	RY	96	00000	0005F		指定デバイス	Y	96	01000	0105F
3	RWw	92	00000	0005B		指定デバイス	W	92	00000	0005B
4	RWr	92	00000	0005B		指定デバイス	W	92	01000	0105B
5										

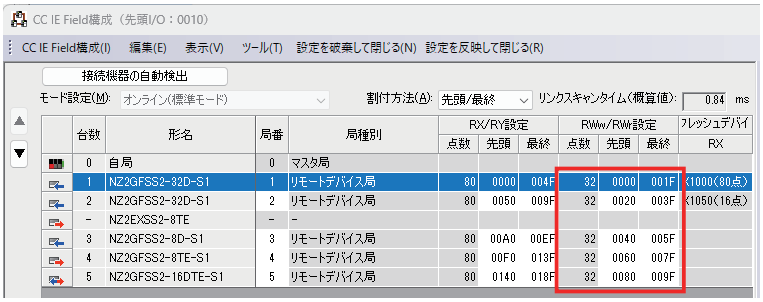
↓

変更後



No.	リンク側 デバイス名	点数	先頭	最終		CPU側 リフレッシュ先	デバイス名	点数	先頭	最終
-	SB	512	00000	001FF		指定デバイス	SB	512	00000	001FF
-	SW	512	00000	001FF		指定デバイス	SW	512	00000	001FF
1	RX	96	00000	0005F		指定デバイス	X	96	01000	0105F
2	RY	96	00000	0005F		指定デバイス	Y	96	01000	0105F
3	RWw	160	00000	0009F		指定デバイス	W	160	00000	0009F
4	RWr	160	00000	0009F		指定デバイス	W	160	01000	0109F
5										

点数を満たしているかについては，ネットワーク構成画面でRWw/RWrの点数範囲を確認してください。



	台数	形名	局番	局種別	RX/RY設定 点数	先頭	最終	RWw/RWr設定 点数	先頭	最終	フレッシュデバイ RX
	0	自局	0	マスタ局							
	1	NZ2GFSS2-32D-S1	1	リモートデバイス局	80	0000	004F	32	0000	001F	<1000(80点)
	2	NZ2GFSS2-32D-S1	2	リモートデバイス局	80	0050	009F	32	0020	003F	<1050(16点)
	-	NZ2EXSS2-8TE	-	-							
	3	NZ2GFSS2-8D-S1	3	リモートデバイス局	80	00A0	00EF	32	0040	005F	
	4	NZ2GFSS2-8TE-S1	4	リモートデバイス局	80	00F0	013F	32	0060	007F	
	5	NZ2GFSS2-16DTE-S1	5	リモートデバイス局	80	0140	018F	32	0080	009F	

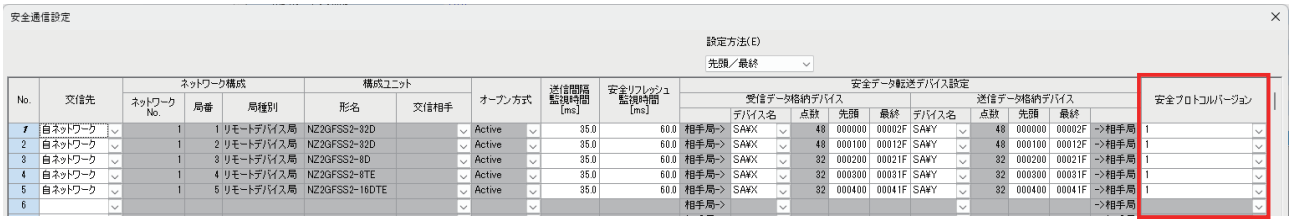
安全通信設定

置換え機種の安全通信設定の安全プロトコルバージョンを2に変更します。

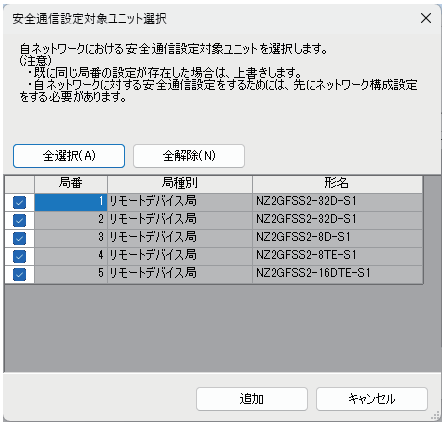
1. マスタユニットの安全通信設定を変更します。

[0010: RJ71GF11-T2]→[応用設定]→[安全通信設定(詳細)]

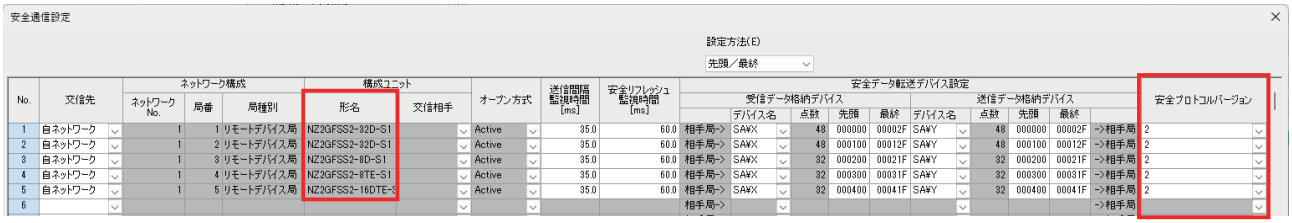
2. 構成ユニットを置換するために，交信先の空白に[自ネットワーク]を選択します。



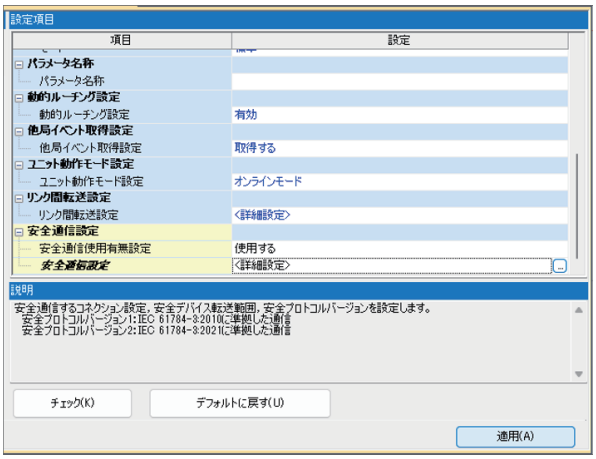
3. 「安全通信設定対象ユニット選択」の画面が表示されたら，置換する形名を選択して追加します。



4. 形名が正しく置き換わったことを確認し，安全プロトコルバージョンを2に変更します。



5. マスタ局のユニットパラメータの設定を適用します。



6. 安全リモートI/Oユニットを安全CPUに認識させるために，シーケンサへの書込みを実施します。

[オンライン]→[シーケンサへの書込み]

ユニットパラメータ設定

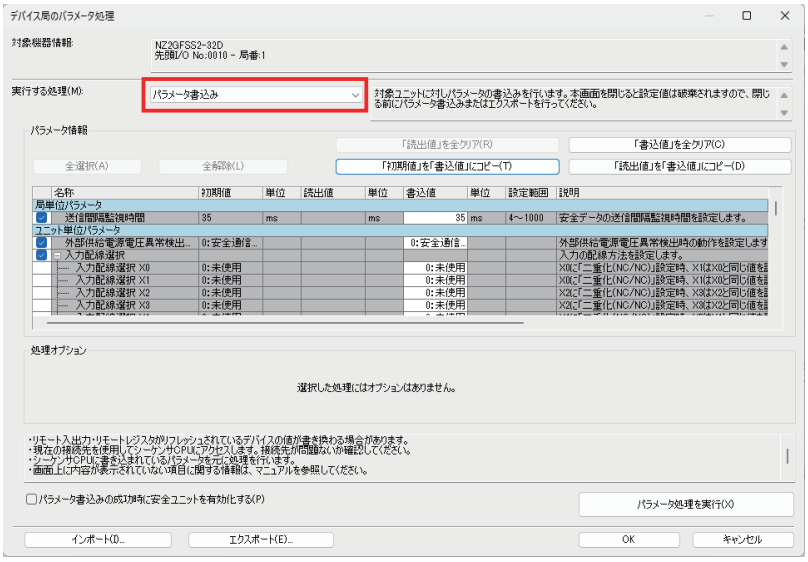
安全リモートI/Oユニットのユニットパラメータの書込みをします。

1. ネットワーク構成設定を開きます。

[0010: RJ71GF11-T2]→[基本設定]→[ネットワーク構成設定]

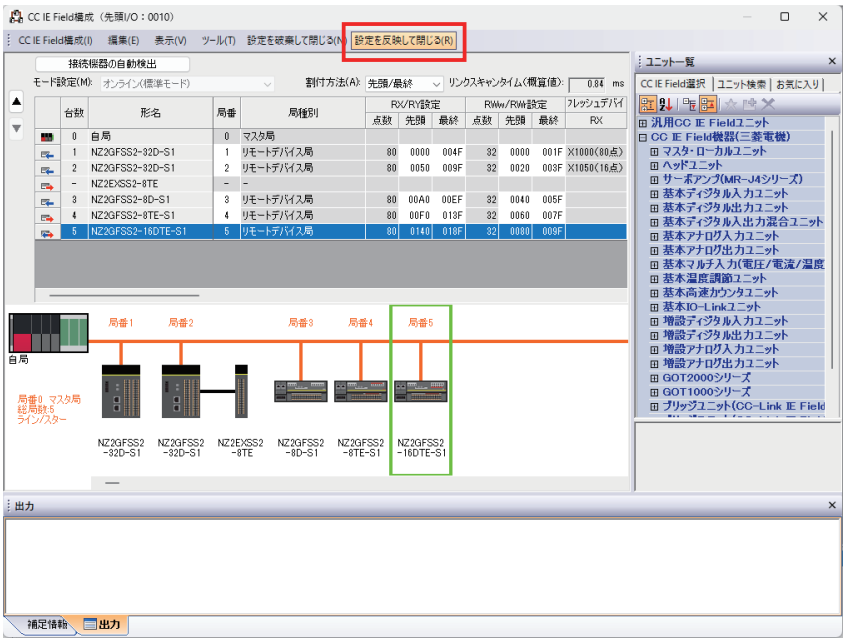
2. パラメータ入力および，パラメータ書込みを行います。

[ネットワーク構成画面]→[デバイス局のパラメータ設定]→[実行する処理: パラメータ書込み]



3. 交換した台数分，2.の手順を繰り返します。

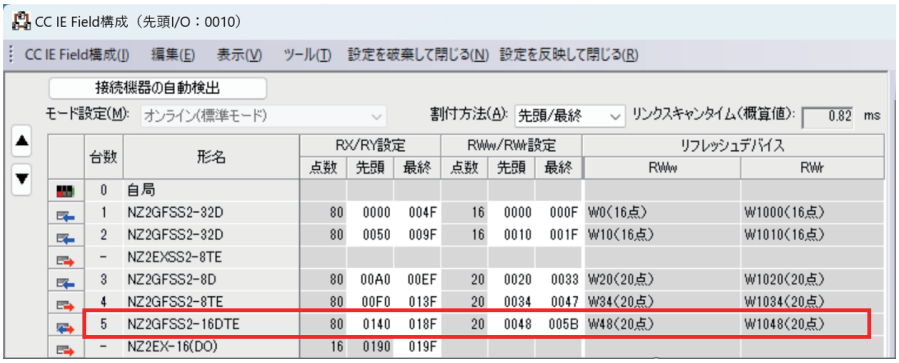
4. ネットワーク構成画面の[設定を反映して閉じる]を選択します。



9.5 プログラムのデバイス置換

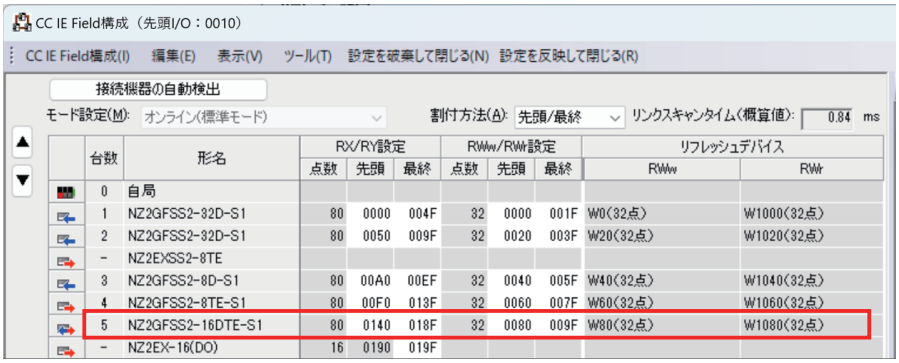
プログラムで使用しているデバイスの変更を行います。
NZ2GFSS2-16DTE+NZ2EX-16(DO) のデバイス置換手順を例に説明します。
ユニット置き換え前の設定では，Y出力ON情報(RWr58)とY出力OFF情報(RWr5B)がW58とW5Bに割り付けられていました。
しかし，ユニット置き換え後は，W58とW5Bが別のリフレッシュデバイスで使用されることになるため，W58とW5Bに割り付けられていた情報を新しいデバイスに再割り付けする必要があります。

ユニット置換え前

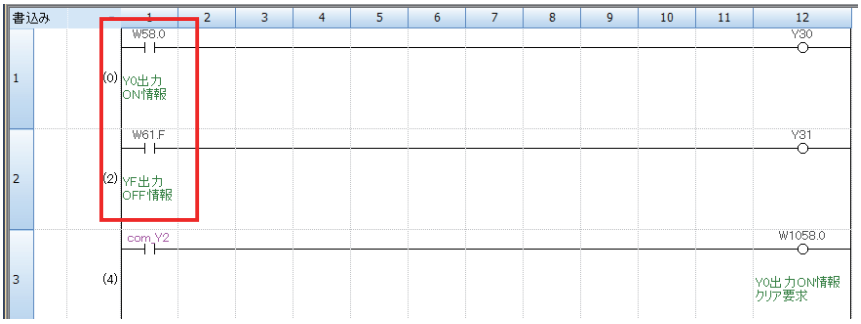


↓

ユニット置換え後



Y出力ON情報等を使用したプログラム例



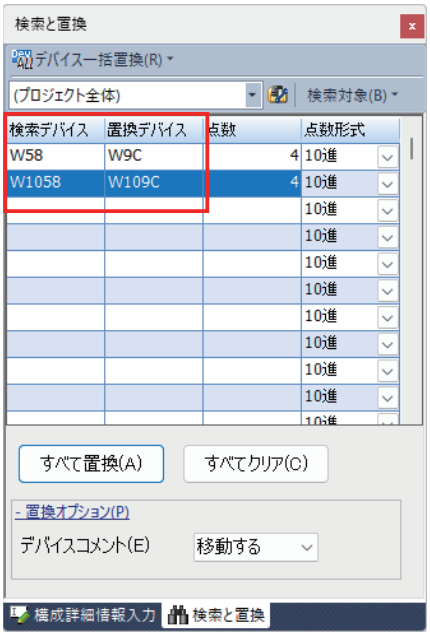
NZ2GFSS2-16DTE+NZ2EX-16(DO)からNZ2GFSS2-16DTE-S1+NZ2EX-16(DO)の置換えでは，リモートレジスタの各機能の割付け(デバイスNo.)が下記のように変更されます。

項目	NZ2GFSS2-16DTE	NZ2GFSS2-16DTE-S1
RWrの先頭	RWr48	RWr80
Y出力ON情報	RWr58(RWr48+10)	RWr9C(RWr80+1C)
Y出力OFF情報	RWr5B(RWr48+13)	RWr9F(RWr80+1F)

デバイス一括置換機能を使用する方法

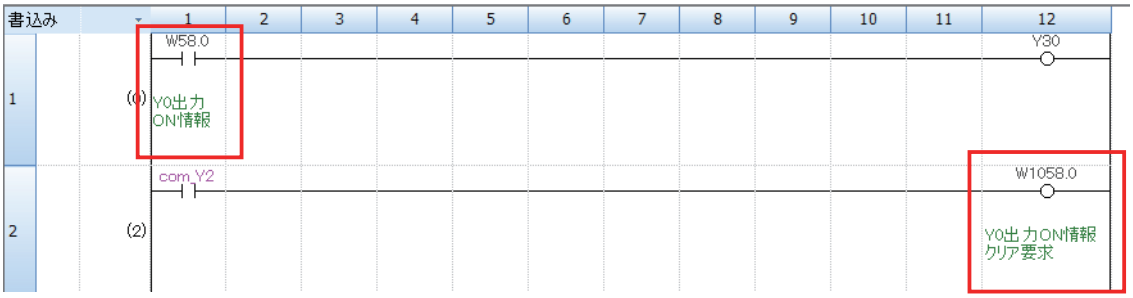
デバイス一括置換機能を使用したプログラムのデバイス置換する手順を説明します。

[検索/置換]→[デバイス一括置換]



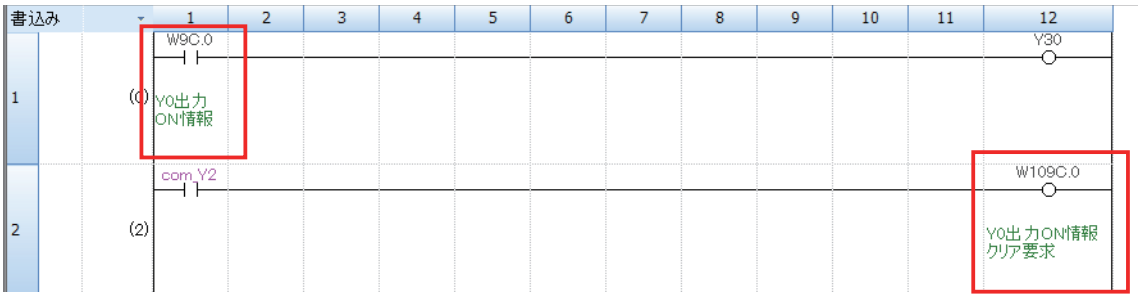
1. 検索デバイス列と置換デバイス列に置換え前後のデバイス名を入力します。
2. 点数列に変更する点数分入力します。
3. デバイスコメントは"移動する"を選択します。
4. [すべて置換]をクリックして，プログラムが置換されたことを確認します。

置換前



↓

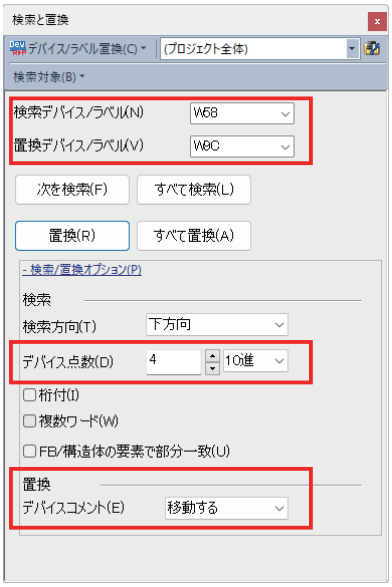
置換後



デバイス/ラベル置換機能を使用する方法

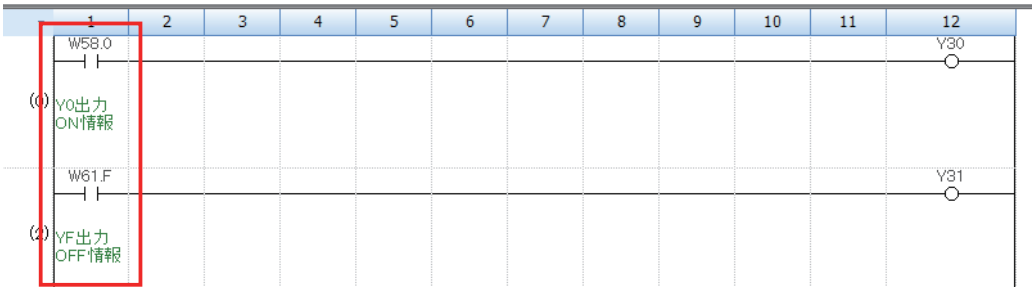
デバイス/ラベル置換機能から，プログラムのデバイス置換する手順を説明します。

[検索/置換]→[デバイス/ラベル置換]



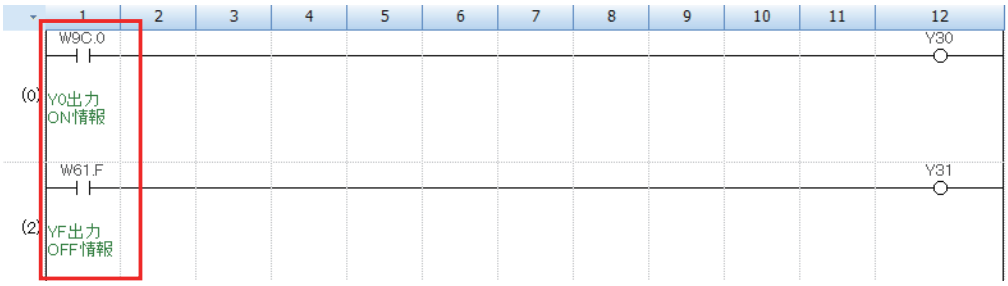
1. 検索デバイスに置換え前，置換デバイスに置換え後のデバイスを入力します。
2. デバイス点数を変更する点数分入力します。
3. デバイスコメントは"移動する"を選択します。
4. [すべて置換]をクリックして，プログラムが置換されたことを確認します。

置換前



↓

置換後



9.6 安全ユニット有効化

安全リモートI/Oユニットのユニットパラメータを有効化します。

1. マスタ局のユニットパラメータの設定を適用します。

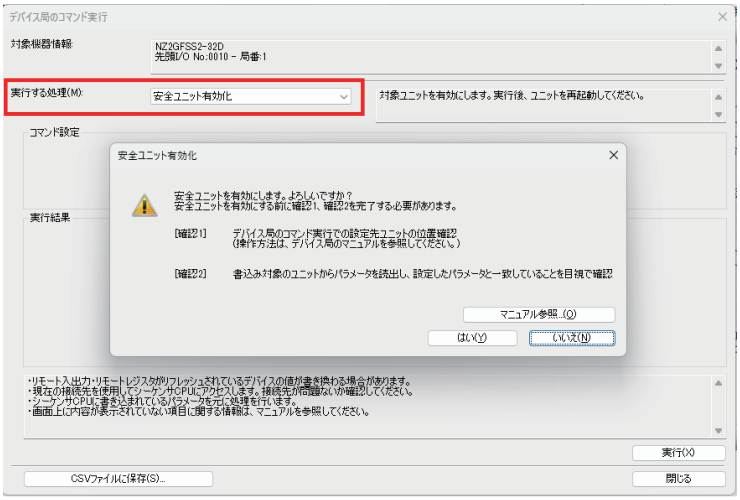
2. シーケンサへの書込みを実施します。

[オンライン]→[シーケンサへの書込み]

3. 安全制御システム(安全CPUと安全リモートI/Oユニット)をリセットしてください。

4. ネットワーク構成設定から安全ユニット有効化を実施します。

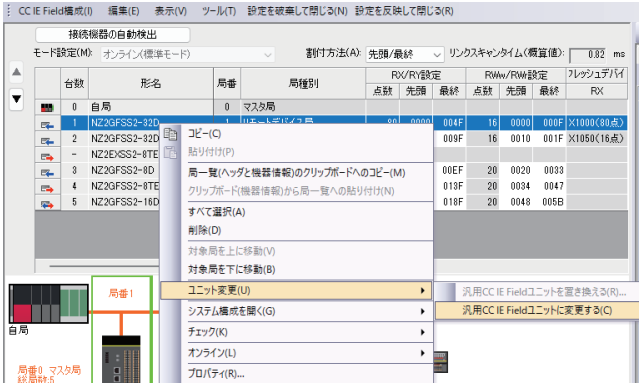
実施後は，安全リモートI/Oユニットの再起動が必要です。



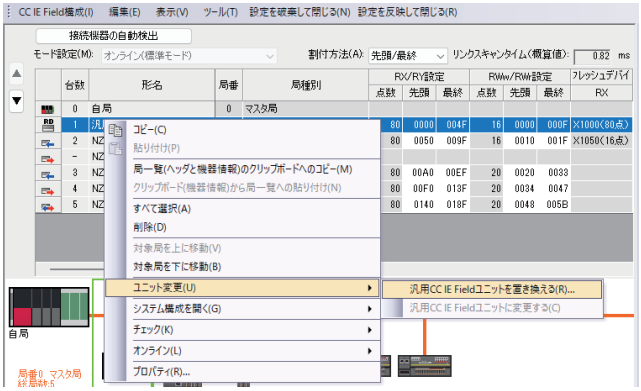
10 付録

10.1 クリップボードを使用しない置換方法

1. ユニットを選択し，[ユニット変更]→[汎用CC IE Fieldユニットに変更する]を選択します。

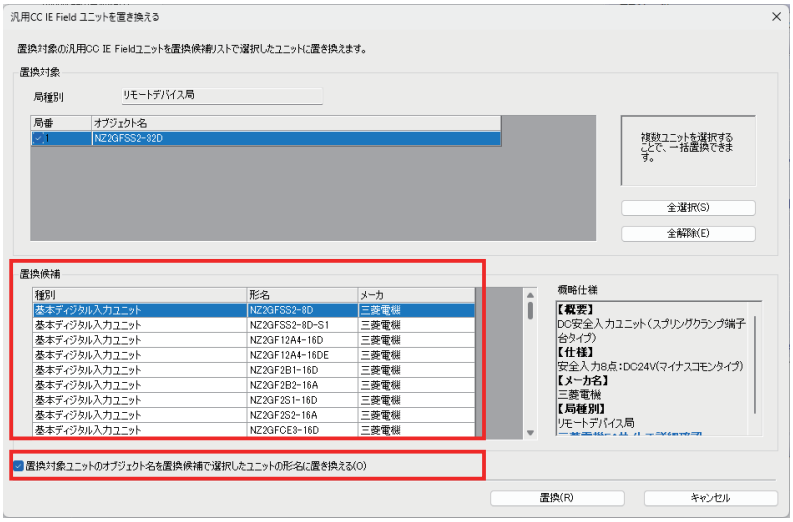


2. 汎用CC IE Fieldユニットに対して，[汎用CC IE Fieldユニットを置き換える]を選択します。



3. 置換候補一覧の中から置き換えるユニットを選択します。

4. “置換対象ユニットのオブジェクト名を置換候補で選択したユニット形名に置き換える”にチェックを入れ[置換]をクリックします。



RWw/RWr自動割付設定

1. ネットワーク構成画面の[CC IE Field構成]→[均等割付]を選択します。

2. RWw/RWr均等割付で，安全リモートI/Oを32点数に変更します。
割付総点数に32点×局数分の点数を入力し，[適用]をクリックします。

改訂履歴

副番	発行年月	改訂内容
A	2025年9月	初版

商標

本文中における会社名，システム名，製品名などは，一般に各社の登録商標または商標です。
本文中で，商標記号(™，®)は明記していない場合があります。

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒100-8310	東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)	(03) 3218-2606
関越機器営業部	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビル)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通2-4-10 (日本生命新潟ビル)	(025) 241-7227
神奈川機器営業部	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区大通西3-11 (北洋ビル)	(011) 212-3792
東北支社	〒980-0013	仙台市青葉区花京院1-1-20 (花京院スクエア)	(022) 216-4546
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-6423	名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビルヂング)	(052) 565-3314
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
関西支社	〒530-8206	大阪市北区大深町4-20 (グランフロント大阪タワーA)	(06) 6486-4122
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5348
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

三菱電機 FA 検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

仕様・機能に関するお問い合わせ

製品ごとにお問い合わせを受け付けております。
三菱電機FAサイト ー 仕様・機能に関するお問い合わせ
www.MitsubishiElectric.co.jp/fa/contact-us/spec/

⚠ 安全に関するご注意 本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくため，ご使用の前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。